

認知症対策専門委員会

(令和5年度)

認知症対策専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 認知症対策専門委員会

委員長 石井 伸弥

I. はじめに

令和元年にとりまとめられた「認知症施策推進大綱」および令和3年4月に策定された「第8期ひろしま高齢者プラン」に示された認知症施策における二つの軸である「共生」と「予防」に沿って、認知症施策の状況把握や効果検証、課題抽出等に資する調査・研究、モデル事業等を実施する事を目的として本委員会は令和3年度に設立された。

本委員会では設立から以下の取組を継続的にを行っている。

- ・「若年性認知症に人の医療や暮らしにおけるニーズに関する研究の実施」：令和4年度に開始した取組で、若年性認知症の方やそのご家族が、医療や暮らしにおいてどのような思いやニーズをもっているのかを把握するために、アンケート調査を実施した。
- ・「山間部・離島における認知症地域医療の調査」：山間部・離島における認知症地域医療の実態について、令和3年度には、認知症医療介護従事者および行政担当者を対象にインタビュー調査を行い、さらにかかりつけ医、地域包括支援センターを対象としたアンケート調査を実施した。令和4年度には都市部のかかりつけ医や地域包括支援センターに対して同様の調査を行い、令和3年度に実施した山間部・離島における調査結果と比較することで、それぞれの地域の課題を明らかにした。

さらに、これらの調査を通して、認知症の人の地域生活を支えるため、民生委員が大きな役割を果たしていることが明らかになったことから、令和4年度に民生委員を対象としてアンケート調査およびインタビュー調査を実施した。

- ・「介護支援専門員を対象とした学習ニーズの調査や学習・研修プログラムの開発」：令和3年度に

は介護支援専門員を対象として学習ニーズの調査および自己評価尺度「認知症高齢者に対するケアマネジメント実線自己評価尺度」の開発を行った。令和4年度には研修会をオンラインで開催（令和4年度2月2日）し、その効果を「認知症高齢者に対するケアマネジメント実線自己評価尺度」によって検証し、研修が介護支援専門員の認知症ケアマネジメントに関する理解や知識の向上に関して効果的であることを示した。

令和5年度に行った取組の成果を以下報告する。

1. 若年性認知症に人の医療や暮らしにおけるニーズに関する研究の実施

若年性認知症の方やそのご家族が、医療や暮らしにおいてどのような思いやニーズをもっているのかを把握するために、令和5年1月からアンケート調査の結果を取りまとめた（資料1・2・3）。

若年性認知症の人本人19人、家族24人、担当者19人から回答を得た。

本人19人のうち、男性13名（68%）、女性6名（32%）であった。就労しているのはうち6名（32%）であった。就労以外に地域の活動や集いの場に参加しているものは11名（58%）であった。住まいの地域にあって欲しいと思う集いの場として最も多かったのは趣味活動を楽しめる場（42%）であり、次いで本人同士の集い（26%）、就労支援が受けられる場（26%）であった。

家族として回答した回答者の続柄は9割近くが配偶者・パートナーであった（88%）。回答者のうち、介護を助けてくれる人が居ないと回答した割合は29%であり、さらに若年性認知症を契機とした就労状況の変化によって経済状況が悪くなったと回答したものは86%（14名中12名、10名は無回答）であった。

若年性認知症で最初の症状として最多はもの忘れ(46%)で、次いで言葉が上手く出なくなった(17%)であった。症状に気がついてから過半数が1年以内に医療機関を受診していた(79%)が、診断までに1年以上かかったと回答した割合は29%にのぼった。

リハビリ専門職が関わるリハビリを受けている割合は29%であったが、受けたことがないが今後受けてみたいとの回答も29%でみられた。若年性認知症に関する制度について利用率が高いのは自立支援医療(75%)であり、次いで精神障害者保健福祉手帳(54%)、障害年金(50%)であった。相談窓口について、知られており、かつ利用・相談経験があるものとしては認知症地域支援推進員が最多であり、次いで認知症カフェであった。

また、アンケート調査の結果を補完するため、今年度若年性認知症の人と家族に対してインタビュー調査を実施し、本人4名、家族2名から回答を得た。今後結果の解析を進める予定である。

2. 山間部・離島における認知症地域医療の調査

今年度はこれまでに実施したかかりつけ医や地域包括支援センターを対象としたアンケート調査、民生委員を対象としたアンケート調査およびインタビュー調査の結果の解析を進めた(資料4)。

民生委員は認知症の人が可能な限り住み慣れた地域で本人の意思を尊重して暮らせるよう、日常生活において状況確認や見守り支援を行うだけでなく、

個々の状況に応じて多様な関わり方をしていることが明らかになった。また、地域の様々な関係機関と連携するネットワーキングを通して地域の関係作りに重要な役割を果たしていることが明らかとなった。

3. 介護支援専門員向け学習・研修プログラムの開発 令和5年度では2回の研修を実施した。

- ・第1回目：令和5年12月22日
テーマ：認知症と間違われやすい精神疾患
当日参加者：37名
- ・第2回目：令和6年1月19日
テーマ：せん妄
当日参加者：29名

研修の前後で「認知症高齢者に対するケアマネジメント実践自己評価尺度」を実施し、その効果を検証した(資料5)。

介入前後の効果として、第1因子：認知症のケア手法のパーソンセンタードケア(6項目)、第2因子：疾患特性、治療やケアへの理解(4項目)、第3因子：認知症の人への理解と特性に応じたケアマネジメント(5項目)、第4因子：認知症の人を取り巻く地域資源の活用(3項目)に関して前後比較をしたが、いずれの得点も研修前後において増加していた。このことはこうした研修によって自己評価が向上することを示している。研修3ヶ月後にも同尺度を実施しているため、長期的な効果については今後検討を行っていく。

若年性認知症に関する調査（本人）集計結果

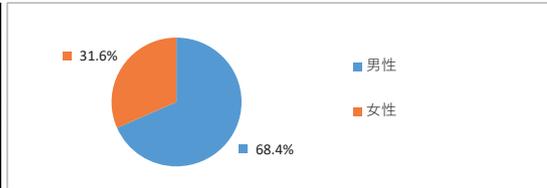
◆回収状況

回収件数	19
------	----

1. あなたご自身について

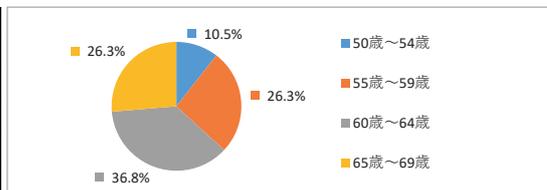
性別

	件数	割合(%)
1 男性	13	68.4
2 女性	6	31.6
3 その他	0	0.0
4 答えたくない	0	0.0
計	19	100.0



年齢

	件数	割合(%)
1 50歳～54歳	2	10.5
2 55歳～59歳	5	26.3
3 60歳～64歳	7	36.8
4 65歳～69歳	5	26.3
計	19	100.0



2. あなたの就労や地域の活動の状況について

1) 現在、就労されていますか？

	件数	割合(%)
1 収入を伴う仕事をしている	4	21.1
2 収入を伴わない仕事をしている	2	10.5
3 就労していない	13	68.4
計	19	100.0



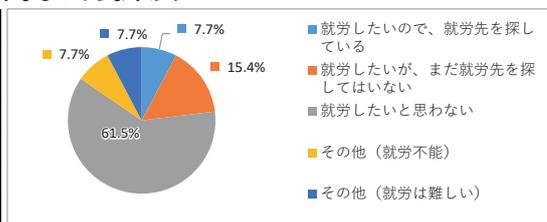
(1) 1)で1または2を選ばれた方：あなたにとって就労はどのような意味合いがありますか？（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 社会に役立つこと	3	23.1
2 喜び・楽しみ	4	30.8
3 収入による家族の暮らしの支え	4	30.8
4 その他	0	0.0



(2) 1)で3「就労していない」を選ばれた方：今の就労に対するお気持ちはどのようなものでしょうか？

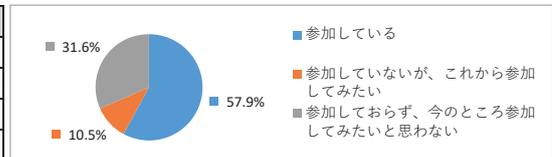
	件数	割合(%)
1 就労したいので、就労先を探している	1	7.7
2 就労したいが、まだ就労先を探してはいない	2	15.4
3 就労したいと思わない	8	61.5
4 その他（就労不能）	1	7.7
4 その他（就労は難しい）	1	7.7
計	13	100.0



若年性認知症に関する調査（本人） 集計結果

2) 就労以外で、お住いの地域の活動や集いの場に参加していますか？

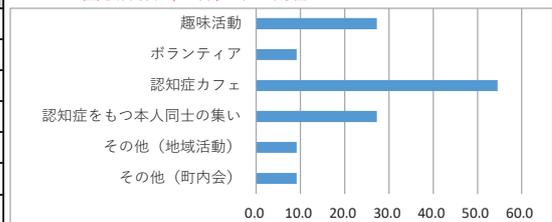
	件数	割合(%)
1 参加している	11	57.9
2 参加していないが、これから参加してみたい	2	10.5
3 参加しておらず、今のところ参加してみたいと思わない	6	31.6
計	19	100.0



(1) 2)で1「参加している」を選ばれた方：どのような活動や集いの場に参加していますか？（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 趣味活動	3	27.3
2 ボランティア	1	9.1
3 認知症カフェ	6	54.5
4 認知症をもつ本人同士の集い	3	27.3
5 認知症に関する講演活動	0	0.0
6 その他（地域活動）	1	9.1
6 その他（町内会）	1	9.1

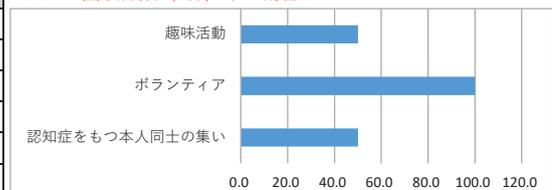
※%は回収件数（11件）中の割合



(2) 2)で2「参加していないが、これから参加してみたい」を選ばれた方：どのような活動や集いの場に参加してみたいですか？（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 趣味活動	1	50.0
2 ボランティア	2	100.0
3 認知症カフェ	0	0.0
4 認知症をもつ本人同士の集い	1	50.0
5 認知症に関する講演活動	0	0.0
6 その他	0	0.0

※%は回収件数（2件）中の割合

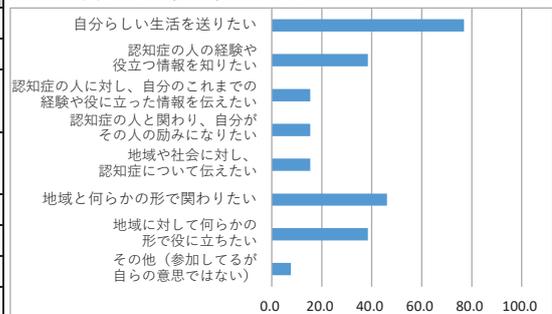


(2) 地域の活動や集いに「参加している」「参加していないが、これから参加してみたい」と回答された方：

活動や集いの場に参加することは、あなたにとってどのような意味をもちますか？（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 自分らしい生活を送りたい	10	76.9
2 認知症の人の経験や役立つ情報を知りたい	5	38.5
3 認知症の人に対し、自分のこれまでの経験や役に立った情報を伝えたい	2	15.4
4 認知症の人と関わり、自分がその人の励みになりたい	2	15.4
5 地域や社会に対し、認知症について伝えたい	2	15.4
6 地域と何らかの形で関わりたい	6	46.2
7 地域に対して何らかの形で役に立ちたい	5	38.5
8 その他（参加しているが自らの意思ではない）	1	7.7

※%は回収件数（13件）中の割合



(3) 地域の活動や集いに「参加しておらず、今のところ参加してみたいと思わない」と回答された方：

活動や集いに対する、あなたのお気持ちはどのようなものですか？（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 自分が認知症であることを家族以外に知られたくない	1	16.7
2 家族が、参加を望まない	0	0.0
3 行きたいと思える場所がない	1	16.7
4 住んでいる地域にそのような場がない	1	16.7
5 その他（就労支援B型を利用しているため）	1	16.7
5 その他（参加は難しい）	1	16.7
5 その他（どんなものかわからないから）	1	16.7

※%は回収件数（6件）中の割合

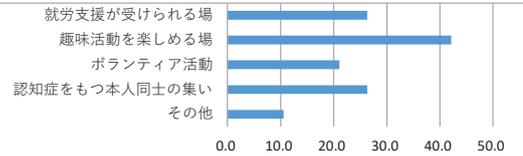


若年性認知症に関する調査（本人） 集計結果

3) お住いの地域にあればよいと思う集いにはどのようなものがありますか？（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 就労支援が受けられる場	5	26.3
2 趣味活動を楽しめる場	8	42.1
3 ボランティア活動	4	21.1
4 認知症をもつ本人同士の集い	5	26.3
5 その他	2	10.5

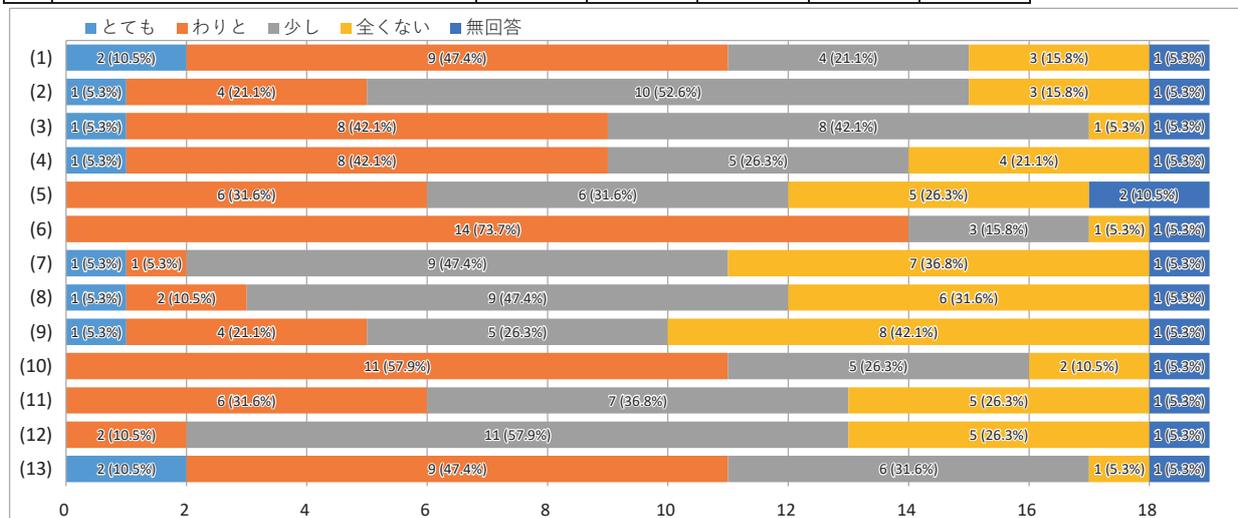
※%は回収件数（19件）中の割合



3. あなたの健康状態や毎日の生活について

1) まず、あなたのご気分についてお聞きします。最近1週間、どのくらい感じましたか？

	1	2	3	4	無回答
	とても	わりと	少し	全くない	
(1) 気分がほぐらかだ	2	9	4	3	1
(2) 心配だ、不安だ	1	4	10	3	1
(3) 人生を楽しんでいる	1	8	8	1	1
(4) うまいかず、もどかしい感じがする	1	8	5	4	1
(5) 自信がある	0	6	6	5	2
(6) 元気いっぱいだ	0	14	3	1	1
(7) 悲しい	1	1	9	7	1
(8) さびしい	1	2	9	6	1
(9) つらい	1	4	5	8	1
(10) 生き生きしている	0	11	5	2	1
(11) いらいらしやすい	0	6	7	5	1
(12) うんざりする	0	2	11	5	1
(13) やりたいことがあるのにできない	2	9	6	1	1

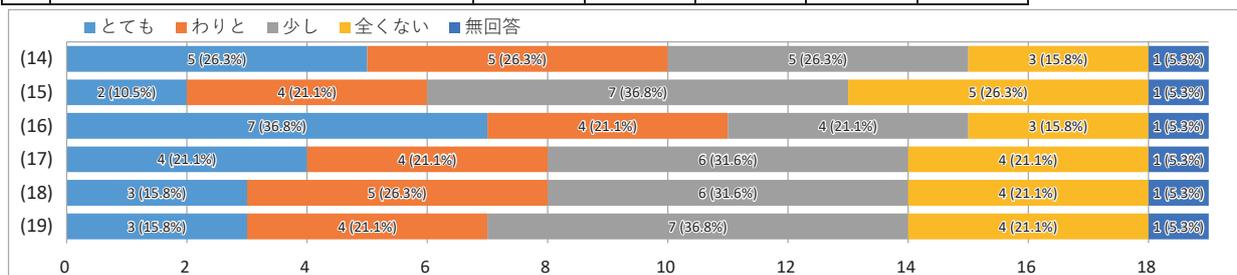


※()は回収件数（19件）中の割合(%)

若年性認知症に関する調査（本人） 集計結果

2) 次は、記憶力についてお聞きします。最近1週間、どのくらい心配になったり、気になったりしましたか？

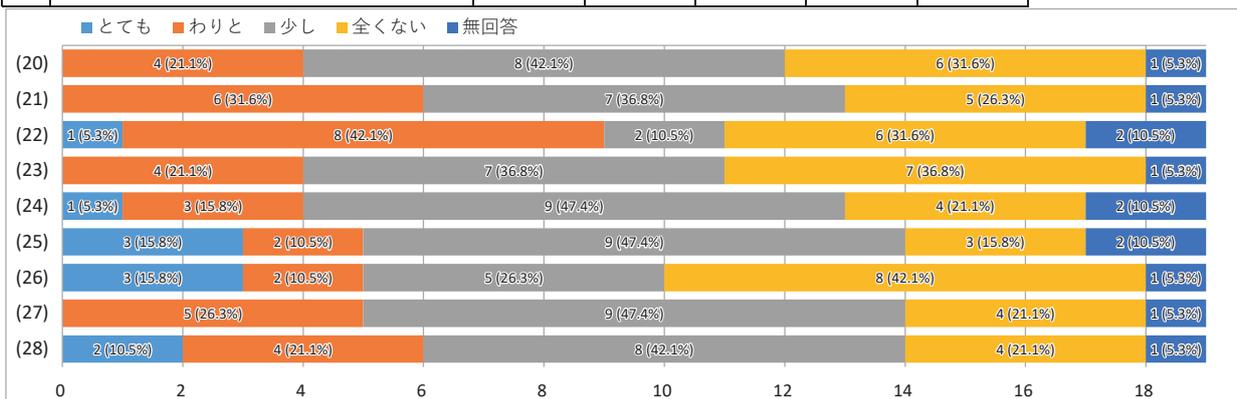
	1 2 3 4				
	とても	わりと	少し	全くない	無回答
(14) 最近の出来事を忘れてしまうこと	5	5	5	3	1
(15) 人について、その人が誰だかわからなくなること	2	4	7	5	1
(16) 日付について、その日が何の日かわからなくなること	7	4	4	3	1
(17) 考えがまとまらずに混乱してしまうこと	4	4	6	4	1
(18) なかなか決断できないこと	3	5	6	4	1
(19) 集中できないこと	3	4	7	4	1



※()は回収件数 (19件) 中の割合(%)

3) 次に、あなたの毎日の生活についてお聞きします。最近1週間、どのくらい心配になったり、気になったりしましたか？

	1 2 3 4				
	とても	わりと	少し	全くない	無回答
(20) 人との交流があまりないこと	0	4	8	6	1
(21) 親しい人とどううまく付き合ったらよいか	0	6	7	5	1
(22) 周りから十分に心優しくされているかどうか	1	8	2	6	2
(23) 人が自分の話を聞いてくれないこと	0	4	7	7	1
(24) 自分のことを理解してもらえているかどうか	1	3	9	4	2
(25) 必要な時に助けられているかどうか	3	2	9	3	2
(26) トイレに間に合うかどうか	3	2	5	8	1
(27) 自分の調子全般	0	5	9	4	1
(28) 自分の健康全般	2	4	8	4	1

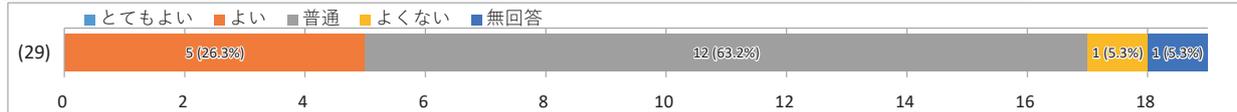


※()は回収件数 (19件) 中の割合(%)

若年性認知症に関する調査（本人） 集計結果

4) ここまで、あなたのご気分や記憶力、毎日の生活について、たくさんのお聞きしました。
では、最近1週間を振り返ってみると、どう思いますか？

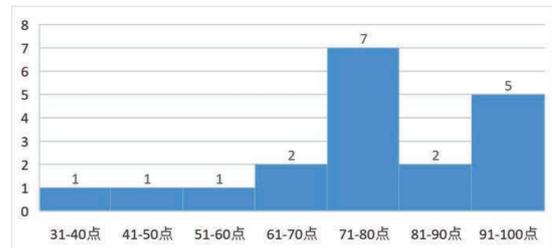
		1	2	3	4	
		とてもよい	よい	普通	よくない	無回答
(29)	あなたの生活の質全般	0	5	12	1	1



※()は回収件数 (19件) 中の割合(%)

DEMQL

	(1)~(29)の合計点	件数
1	31-40点	1
2	41-50点	1
3	51-60点	1
4	61-70点	2
5	71-80点	7
6	81-90点	2
7	91-100点	5



若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

◆回収状況

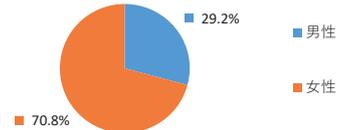
回収件数	24
------	----

1. あなたご自身について

1) 性別・年齢・ご本人との続柄

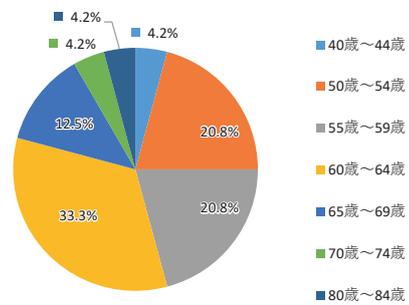
性別

	件数	割合(%)
1 男性	7	29.2
2 女性	17	70.8
3 その他	0	0.0
4 答えたくない	0	0.0
計	24	100.0



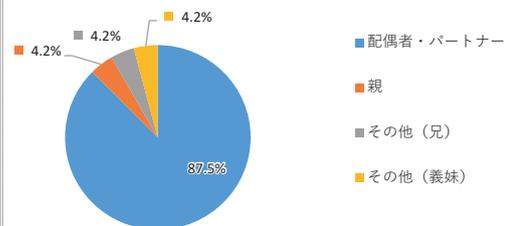
年齢

	件数	割合(%)
1 40歳～44歳	1	4.2
2 45歳～49歳	0	0.0
3 50歳～54歳	5	20.8
4 55歳～59歳	5	20.8
5 60歳～64歳	8	33.3
6 65歳～69歳	3	12.5
7 70歳～74歳	1	4.2
8 75歳～79歳	0	0.0
9 80歳～84歳	1	4.2
計	24	100.0



続柄

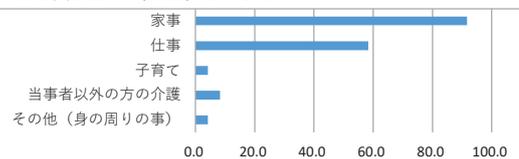
	件数	割合(%)
1 配偶者・パートナー	21	87.5
2 子	0	0.0
3 子の配偶者・パートナー	0	0.0
4 孫	0	0.0
5 親	1	4.2
6 その他（兄）	1	4.2
6 その他（義妹）	1	4.2
計	24	100.0



2) 認知症をおもちのご本人（以下、当事者とします）の介護以外の、あなたの生活上の役割について（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 家事	22	91.7
2 仕事	14	58.3
3 子育て	1	4.2
4 当事者以外の方の介護	2	8.3
5 その他（身の周りの事）	1	4.2

※%は回収件数（24件）中の割合

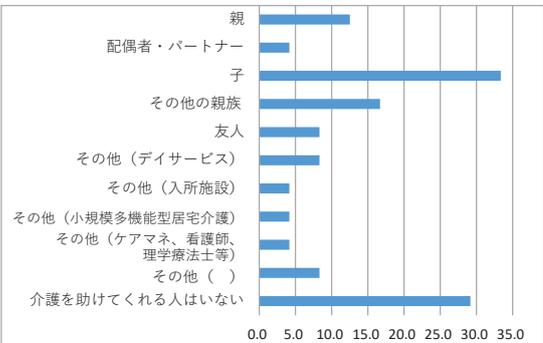


若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

3) 介護を助けてくれる人は、他にいますか？（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 親	3	12.5
2 配偶者・パートナー	1	4.2
3 子	8	33.3
4 その他の親族	4	16.7
5 友人	2	8.3
6 その他（デイサービス）	2	8.3
6 その他（入所施設）	1	4.2
6 その他（小規模多機能型居宅介護）	1	4.2
6 その他（ケアマネ、看護師、理学療法士等）	1	4.2
6 その他（ ）	2	8.3
7 介護を助けてくれる人はいない	7	29.2

※%は回収件数（24件）中の割合



2. 当事者について

1) 現在の就労（収入を伴う仕事）について

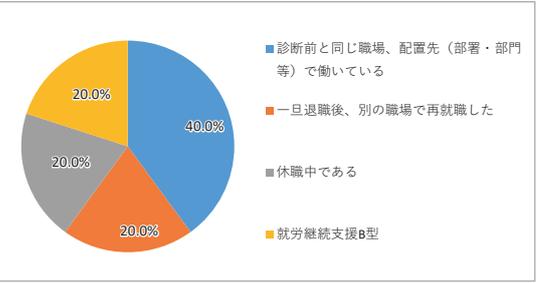
(1) 現在、就労されていますか？

	件数	割合(%)
1 就労している（休職中含む）	5	20.8
2 就労していない	19	79.2
計	24	100.0



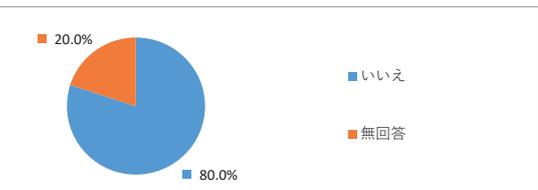
(1)-1 「就労している」と回答された方：今の就労状況について

	件数	割合(%)
1 診断前と同じ職場、配置先（部署・部門等）で働いている	2	40.0
2 診断前と同じ職場だが、配置先（部署・部門等）や就労時間は変わった	0	0.0
3 一旦退職後、別の職場で再就職した	1	20.0
4 休職中である	1	20.0
就労継続支援B型	1	20.0
計	5	100.0



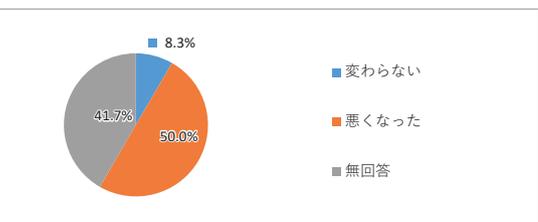
(1)-2 「就労している」と回答された方：今の雇用は、障害者雇用枠ですか？

	件数	割合(%)
1 はい	0	0.0
2 いいえ	4	80.0
3 わからない	0	0.0
無回答	1	20.0
計	5	100.0



(2) 当事者の就労状況によって、今の世帯の経済状況は変わりましたか？

	件数	割合(%)
1 変わらない	2	8.3
2 悪くなった	12	50.0
3 良くなった	0	0.0
4 わからない	0	0.0
無回答	10	41.7
計	24	100.0

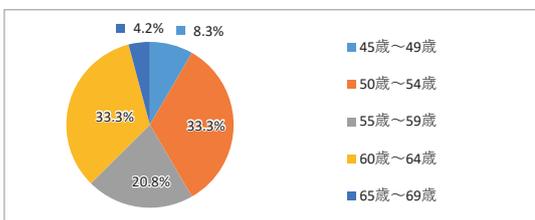


若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

2) 当事者の受診状況や診断名について

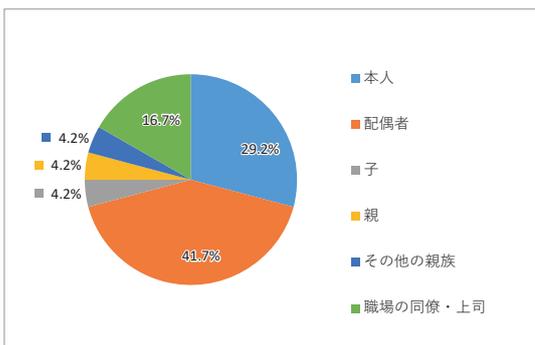
(1) 症状に気が付いたときのご本人の年齢は、何歳頃ですか？

	件数	割合(%)
1 45歳～49歳	2	8.3
2 50歳～54歳	8	33.3
3 55歳～59歳	5	20.8
4 60歳～64歳	8	33.3
5 65歳～69歳	1	4.2
計	24	100.0



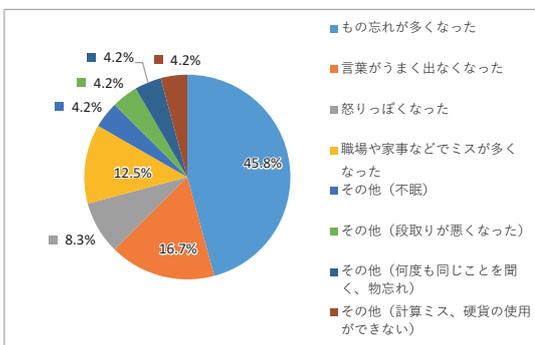
(2) 最初に症状に気が付いた人はどなたですか？

	件数	割合(%)
1 本人	7	29.2
2 配偶者	10	41.7
3 子	1	4.2
4 親	1	4.2
5 その他の親族	1	4.2
6 知人・友人	0	0.0
7 職場の同僚・上司	4	16.7
8 かかりつけ医	0	0.0
9 その他	0	0.0
計	24	100.0



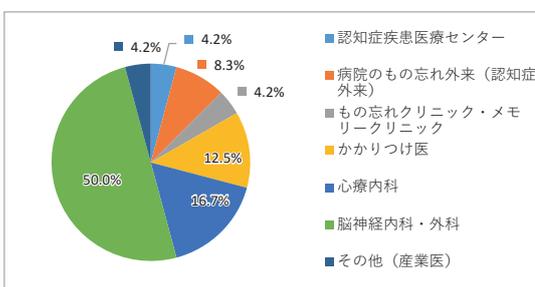
(3) 最初に気が付いた症状はどのようなものでしたか？

	件数	割合(%)
1 もの忘れが多くなった	11	45.8
2 言葉がうまく出なくなった	4	16.7
3 怒りっぽくなった	2	8.3
4 何事にもやる気がなくなった	0	0.0
5 職場や家事などでミスが多くなった	3	12.5
6 その他（不眠）	1	4.2
6 その他（段取りが悪くなった）	1	4.2
6 その他（何度も同じことを聞く、物忘れ）	1	4.2
6 その他（計算ミス、硬貨の使用ができない）	1	4.2
計	24	100.0



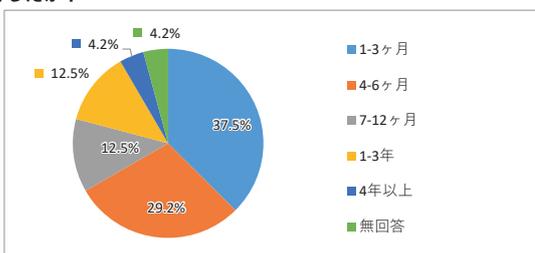
(4) 最初に受診した医療機関はどちらでしたか？

	件数	割合(%)
1 認知症疾患医療センター	1	4.2
2 病院のもの忘れ外来（認知症外来）	2	8.3
3 もの忘れクリニック・メモリークリニック	1	4.2
4 かかりつけ医	3	12.5
5 心療内科	4	16.7
6 脳神経内科・外科	12	50.0
7 その他（産業医）	1	4.2
計	24	100.0



(5) 症状に気が付いてから、最初に医療機関を受診するまでの期間はどのくらいでしたか？

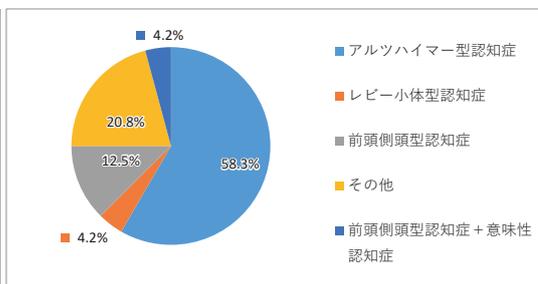
およそ 年 ヶ月	件数	割合(%)
1 1-3ヶ月	9	37.5
2 4-6ヶ月	7	29.2
3 7-12ヶ月	3	12.5
4 1-3年	3	12.5
5 4年以上	1	4.2
無回答	1	4.2
計	24	100.0



若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

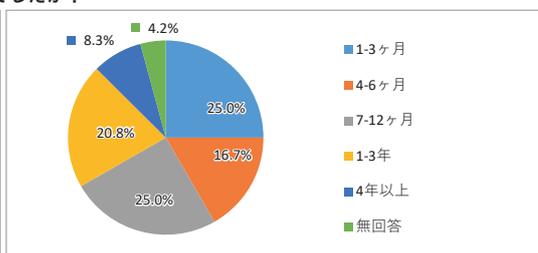
(6) 診断された病名について

	件数	割合(%)
1 アルツハイマー型認知症	14	58.3
2 レビー小体型認知症	1	4.2
3 前頭側頭型認知症	3	12.5
4 血管性認知症	0	0.0
5 外傷による認知症	0	0.0
6 その他	5	20.8
前頭側頭型認知症 + 意味性認知症	1	4.2
計	24	100.0



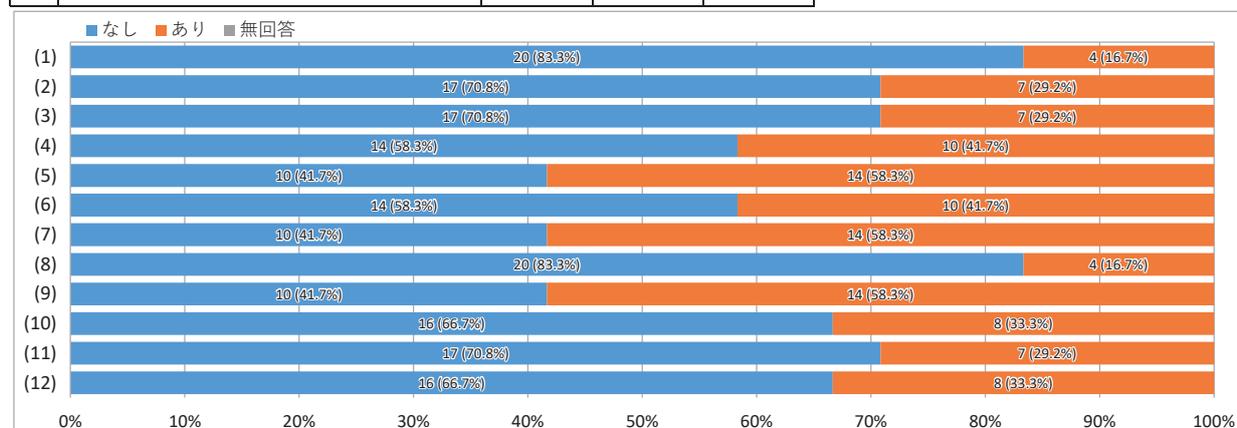
(7) 症状に気が付いてから、若年性認知症と診断されるまでの期間はどのくらいでしたか？

およそ 年 ヶ月	件数	割合(%)
1 1-3ヶ月	6	25.0
2 4-6ヶ月	4	16.7
3 7-12ヶ月	6	25.0
4 1-3年	5	20.8
5 4年以上	2	8.3
無回答	1	4.2
計	24	100.0



3) 当事者の認知症に伴う症状について

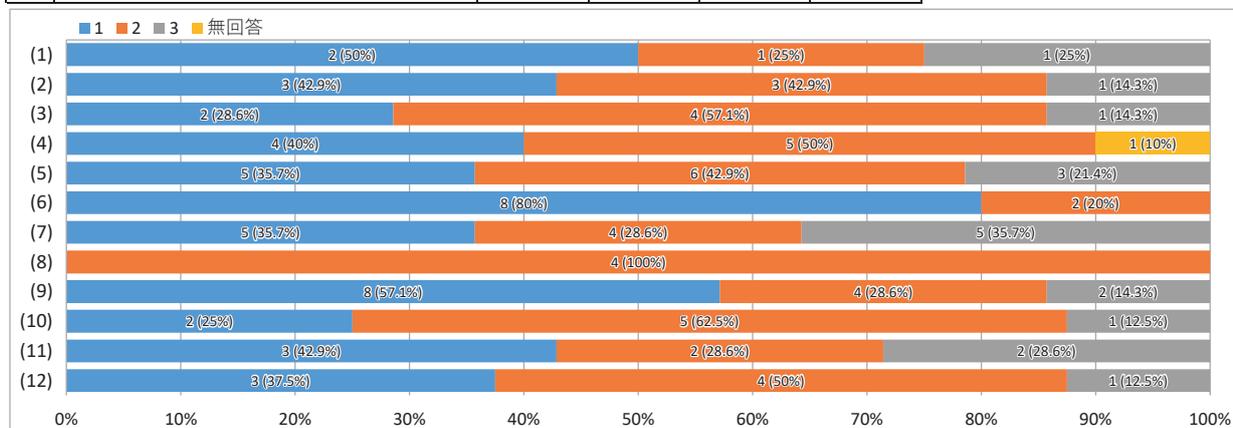
	なし	あり	無回答
(1) 妄想	20	4	0
(2) 幻覚	17	7	0
(3) 興奮	17	7	0
(4) うつ	14	10	0
(5) 不安	10	14	0
(6) 多幸	14	10	0
(7) 無関心	10	14	0
(8) 脱抑制	20	4	0
(9) 易怒性	10	14	0
(10) 異常行動	16	8	0
(11) 夜間行動	17	7	0
(12) 食行動	16	8	0



若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

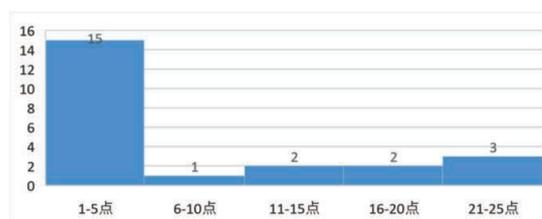
「あり」の場合、重症度

		1	2	3	無回答
(1)	妄想	2	1	1	0
(2)	幻覚	3	3	1	0
(3)	興奮	2	4	1	0
(4)	うつ	4	5	0	1
(5)	不安	5	6	3	0
(6)	多幸	8	2	0	0
(7)	無関心	5	4	5	0
(8)	脱抑制	0	4	0	0
(9)	易怒性	8	4	2	0
(10)	異常行動	2	5	1	0
(11)	夜間行動	3	2	2	0
(12)	食行動	3	4	1	0



NPIQ

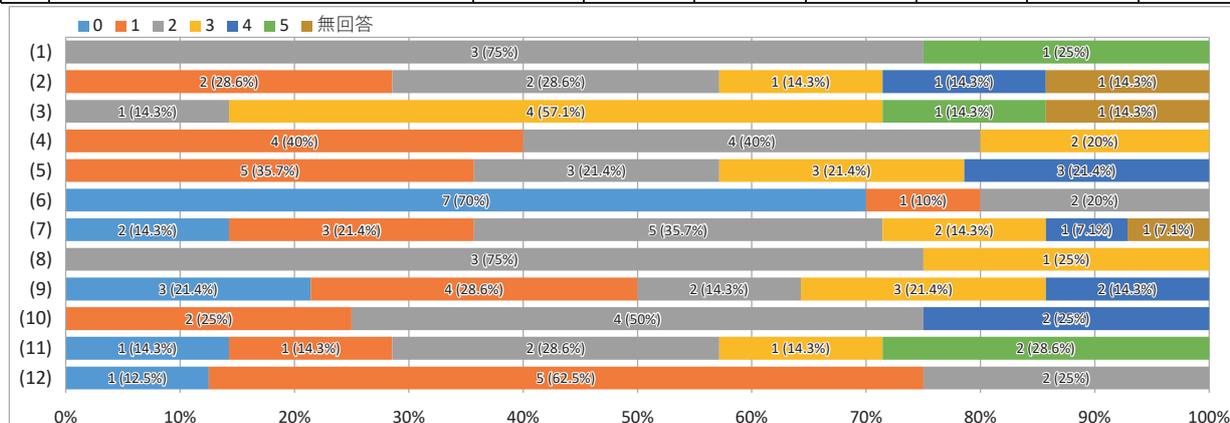
(1)~(12)の合計点	件数
1 1-5点	15
2 6-10点	1
3 11-15点	2
4 16-20点	2
5 21-25点	3



若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

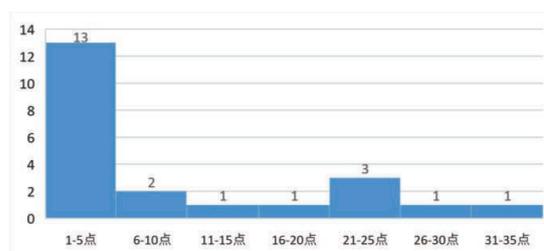
「あり」の場合、負担度

	0	1	2	3	4	5	無回答
(1) 妄想	0	0	3	0	0	1	0
(2) 幻覚	0	2	2	1	1	0	1
(3) 興奮	0	0	1	4	0	1	1
(4) うつ	0	4	4	2	0	0	0
(5) 不安	0	5	3	3	3	0	0
(6) 多幸	7	1	2	0	0	0	0
(7) 無関心	2	3	5	2	1	0	1
(8) 脱抑制	0	0	3	1	0	0	0
(9) 易怒性	3	4	2	3	2	0	0
(10) 異常行動	0	2	4	0	2	0	0
(11) 夜間行動	1	1	2	1	0	2	0
(12) 食行動	1	5	2	0	0	0	0



NPIQ

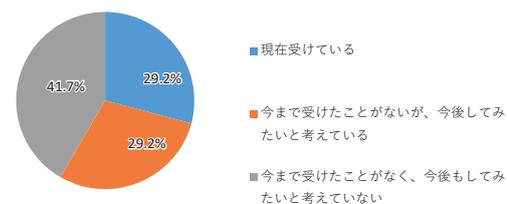
(1)~(12)の合計点	件数
1 1-5点	13
2 6-10点	2
3 11-15点	1
4 16-20点	1
5 21-25点	3
6 26-30点	1
7 31-35点	1



4) 当事者が利用しているリハビリテーションについて

(1) 現在、リハビリテーション専門職が関わる「料理や買い物等の日常生活継続支援」や「趣味活動の継続支援」等を受けておられますか？

	件数	割合(%)
1 現在受けている	7	29.2
2 以前受けていたが、今はしていない	0	0.0
3 今まで受けたことがないが、今後してみたいと考えている	7	29.2
4 今まで受けたことがなく、今後してみたいと考えていない	10	41.7
計	24	100.0



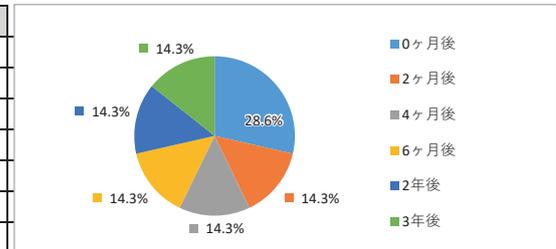
若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

(2)-1 「現在受けている」「以前受けていたが、今はしていない」と回答された方：

医療職からリハビリテーション専門職が関わる「料理や買い物等の日常生活継続支援」や「趣味活動の継続支援」等の提案があった時期と提案した医療機関について

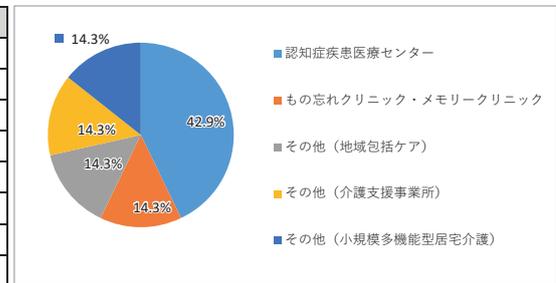
提案された時期

およそ 年 ヶ月	件数	割合(%)
1 0ヶ月後	2	28.6
2 2ヶ月後	1	14.3
3 4ヶ月後	1	14.3
4 6ヶ月後	1	14.3
5 2年後	1	14.3
6 3年後	1	14.3
計	7	100.0



提案した医療機関

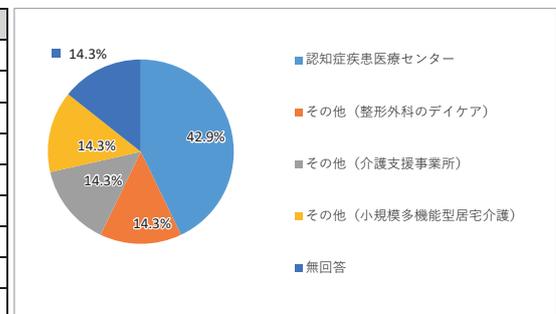
	件数	割合(%)
1 認知症疾患医療センター	3	42.9
2 病院のもの忘れ外来（認知症外来）	0	0.0
3 もの忘れクリニック・メモリークリニック	1	14.3
4 かかりつけ医	0	0.0
5 その他（地域包括ケア）	1	14.3
5 その他（介護支援事業所）	1	14.3
5 その他（小規模多機能型居宅介護）	1	14.3
計	7	100.0



(2)-2 「現在受けている」「以前受けていたが、今はしていない」と回答された方：

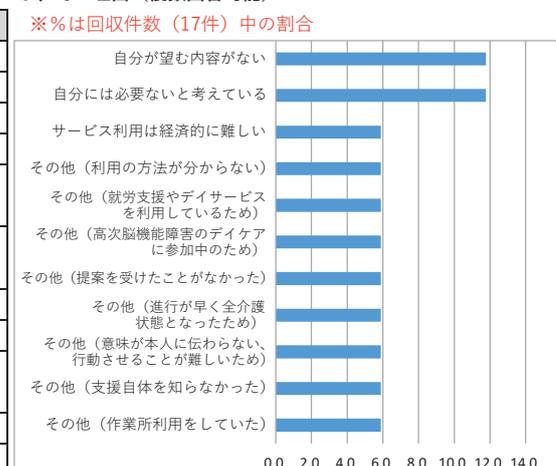
リハビリテーション専門職が関わる「料理や買い物等の日常生活継続支援」や「趣味活動の継続支援」等を受けている・受けていた医療機関は、どちらでしたでしょうか？

	件数	割合(%)
1 認知症疾患医療センター	3	42.9
2 病院のもの忘れ外来（認知症外来）	0	0.0
3 もの忘れクリニック・メモリークリニック	0	0.0
4 かかりつけ医	0	0.0
5 その他（整形外科のデイケア）	1	14.3
5 その他（介護支援事業所）	1	14.3
5 その他（小規模多機能型居宅介護）	1	14.3
無回答	1	14.3
計	7	100.0



(2)-3 「今まで受けたことがない」と回答された方：なぜこれまで受けなかったのか、その理由（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 自分が望む内容がない	2	11.8
2 自分には必要ないと考えている	2	11.8
3 サービス利用は経済的に難しい	1	5.9
4 その他（利用の方法が分からない）	1	5.9
4 その他（就労支援やデイサービスを利用しているため）	1	5.9
4 その他（高次脳機能障害のデイケアに参加中のため）	1	5.9
4 その他（提案を受けたことがなかった）	1	5.9
4 その他（進行が早く全介護状態となったため）	1	5.9
4 その他（意味が本人に伝わらない、行動させることが難しいため）	1	5.9
4 その他（支援自体を知らなかった）	1	5.9
4 その他（作業所利用をしていた）	1	5.9



若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

5) 当事者、あなたが介護保険サービス・総合事業以外の制度を現在利用されているか、過去に利用されていたかについて

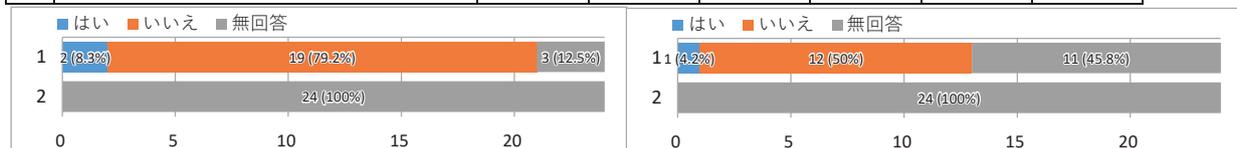
(1) 当事者の制度利用状況について

	現在利用している			過去利用していた		
	1	2		1	2	
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
1 傷病手当金	2	18	4	2	11	11
2 精神障害者保険福祉手帳	13	9	2	1	8	15
3 身体障害者手帳	6	14	4	0	8	16
4 障害年金	12	10	2	0	7	17
5 自立支援医療	18	4	2	1	6	17
6 その他（各1件：就労支援B、介護保険、重度精神障害者通院医療費）	3	0	21	0	0	24



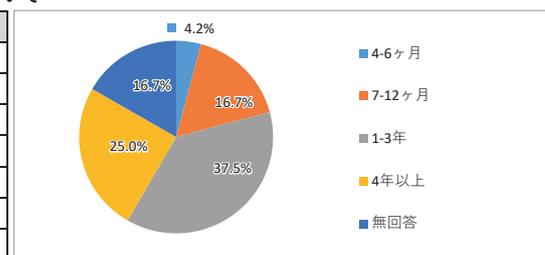
(2) あなたの制度利用状況について

	現在利用している			過去利用していた		
	1	2		1	2	
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
1 介護休暇制度	2	19	3	1	12	11
2 その他	0	0	24	0	0	24



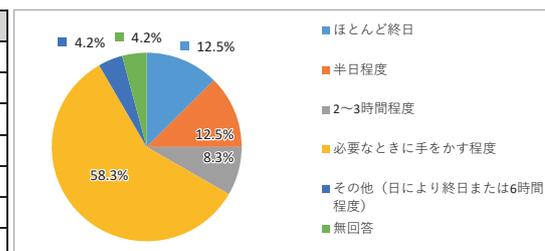
6) 当事者の見守りや日常生活への支援など、介護が必要になってからの期間について

およそ 年 ヶ月	件数	割合(%)
1 1-3ヶ月	0	0.0
2 4-6ヶ月	1	4.2
3 7-12ヶ月	4	16.7
4 1-3年	9	37.5
5 4年以上	6	25.0
無回答	4	16.7
計	24	100.0



7) 1日の介護時間について

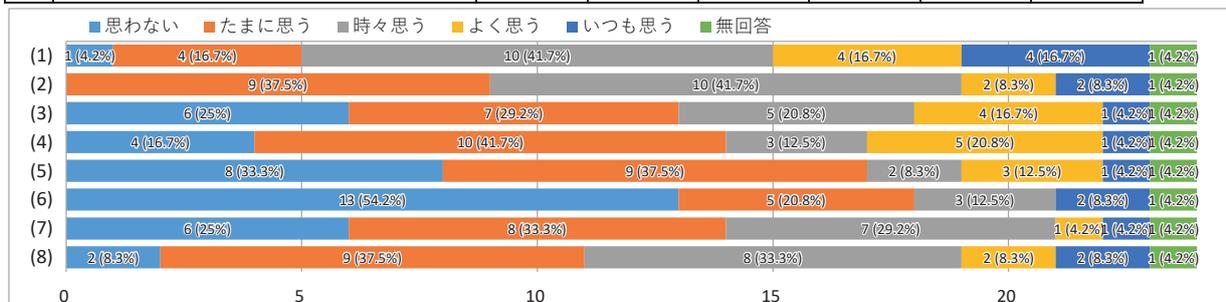
	件数	割合(%)
1 ほとんど終日	3	12.5
2 半日程度	3	12.5
3 2~3時間程度	2	8.3
4 必要なときに手をかす程度	14	58.3
5 その他（日により終日または6時間程度）	1	4.2
無回答	1	4.2
計	24	100.0



若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

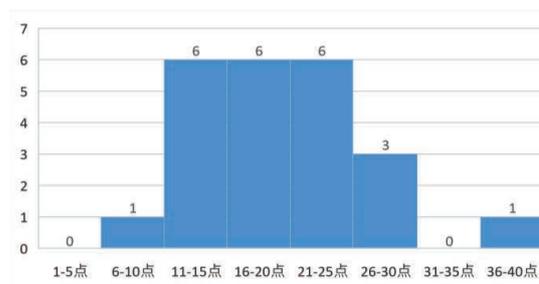
8) 各質問について、あなたの気持ちに最も当てはまると思うもの

		1	2	3	4	5	無回答
		思わない	たまに思う	時々思う	よく思う	いつも思う	
(1)	当事者の行動に対し、困ってしまうと思うことがありますか	1	4	10	4	4	1
(2)	当事者のそばにいると腹が立つことがありますか	0	9	10	2	2	1
(3)	介護があるので、家族や友人と付き合いづらくなっていると思いますか	6	7	5	4	1	1
(4)	当事者のそばにいると、気が休まらないと思いますか	4	10	3	5	1	1
(5)	介護があるので、自分の社会参加の機会が減ったと思うことがありますか	8	9	2	3	1	1
(6)	当事者が家族にいたので、友達を自宅によびたくてもよべないと思ったことがありますか	13	5	3	0	2	1
(7)	介護をだれかに任せてしまいたいと思うことがありますか	6	8	7	1	1	1
(8)	当事者に対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか	2	9	8	2	2	1

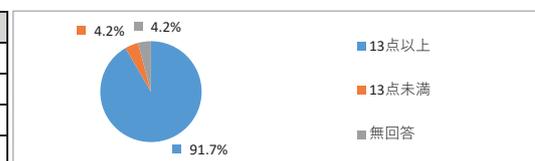


Zarit

(1)~(8)の合計点	件数
1 1-5点	0
2 6-10点	1
3 11-15点	6
4 16-20点	6
5 21-25点	6
6 26-30点	3
7 31-35点	0
8 36-40点	1



(1)~(8)の合計点	件数	割合(%)
1 13点以上	22	91.7
2 13点未満	1	4.2
3 無回答	1	4.2
計	24	100.0



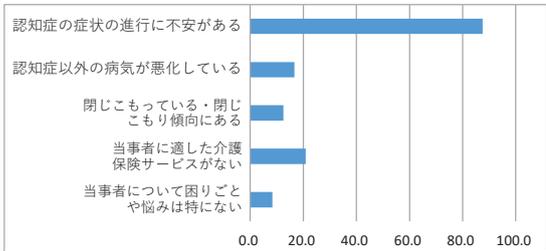
若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

4. お困りごとや悩みについて

1) 当事者について、困りごとや悩みがありますか。（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 認知症の症状の進行に不安がある	21	87.5
2 認知症以外の病気が悪化している	4	16.7
3 閉じこもっている・閉じこもり傾向にある	3	12.5
4 地域活動や集いに行きたくない	0	0.0
5 当事者に適した介護保険サービスがない	5	20.8
6 車の運転がやめられない	0	0.0
7 その他	0	0.0
8 当事者について困りごとや悩みは特にない	2	8.3

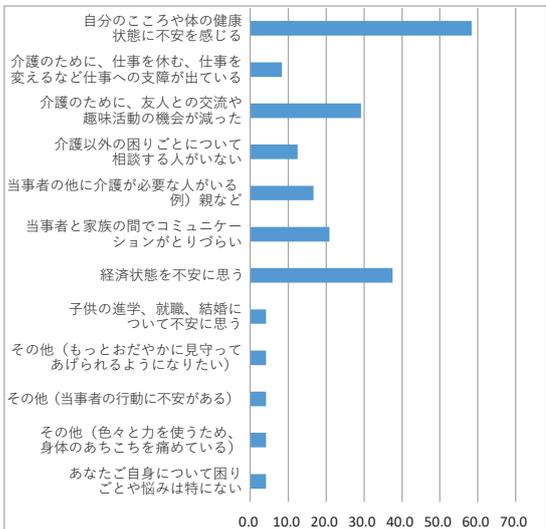
※%は回収件数（24件）中の割合



2) あなたご自身について、困りごとや悩みがありますか。（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 自分のこころや体の健康状態に不安を感じる	14	58.3
2 介護のために、仕事を休む、仕事を変えるなど仕事への支障が出ている	2	8.3
3 介護のために、友人との交流や趣味活動の機会が減った	7	29.2
4 介護のために、自分の進学を断念した	0	0.0
5 介護について相談する人がいない	0	0.0
6 介護以外の困りごとについて相談する人がいない	3	12.5
7 当事者の他に介護が必要な人がいる 例) 親など	4	16.7
8 当事者と家族の間でコミュニケーションがとりにくい	5	20.8
9 経済状態を不安に思う	9	37.5
10 子供の進学、就職、結婚について不安に思う	1	4.2
11 その他（もっとおだやかに見守ってあげられるようになりたい）	1	4.2
11 その他（当事者の行動に不安がある）	1	4.2
11 その他（色々と力を使うため、身体のおちこちを痛めている）	1	4.2
12 あなたご自身について困りごとや悩みは特にない	1	4.2

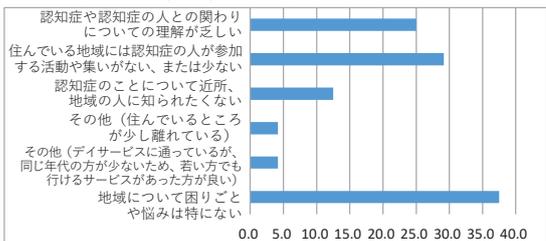
※%は回収件数（24件）中の割合



3) お住いの地域について、困りごとや悩みがありますか。（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 認知症や認知症の人との関わりについての理解が乏しい	6	25.0
2 住んでいる地域には認知症の人が参加する活動や集いがない、または少ない	7	29.2
3 認知症のことについて近所、地域の人に知られたいくない	3	12.5
4 その他（住んでいるところが少し離れている）	1	4.2
4 その他（デイサービスに通っているが、同じ年代の方が少ないため、若い方も行けるサービスがあった方がよい）	1	4.2
5 地域について困りごとや悩みは特にない	9	37.5

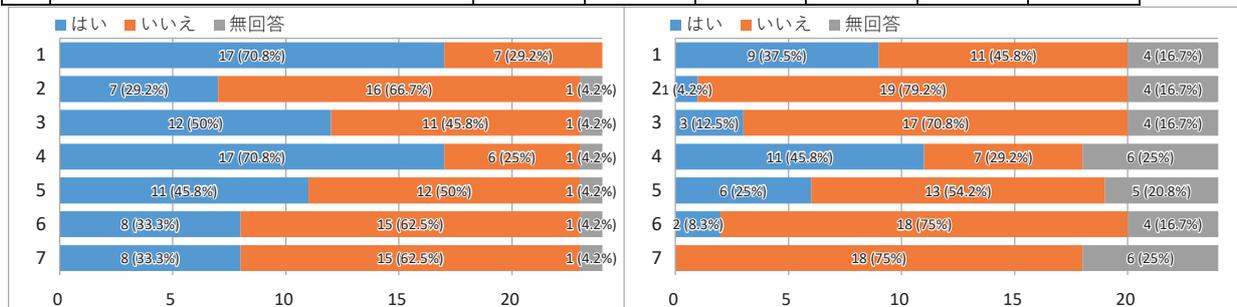
※%は回収件数（24件）中の割合



若年性認知症に関する調査（家族） 集計結果

4) 次のような若年性認知症等に関する支援、相談窓口をご存知ですか？また、利用・相談などしたことはありますか？

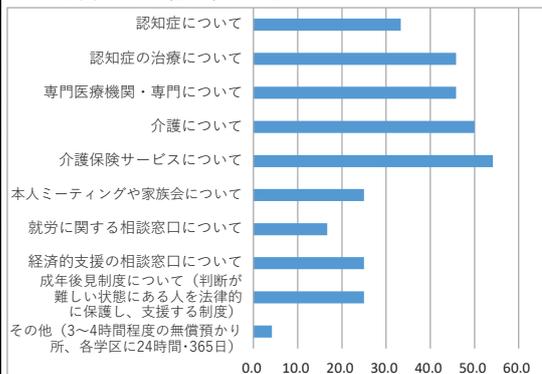
	知っている			利用・相談経験がある		
	1	2		1	2	
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
当事者やご家族への支援						
1 認知症カフェ	17	7	0	9	11	4
2 オレンジアドバイザー（認知症介護に関する地域の身近な相談役）	7	16	1	1	19	4
3 認知症の人と家族の会 広島県支部（陽だまりの会）本人・家族の会	12	11	1	3	17	4
4 認知症地域支援推進員	17	6	1	11	7	6
相談窓口						
5 認知症疾患医療センター	11	12	1	6	13	5
6 広島県若年性認知症サポートルーム	8	15	1	2	18	4
7 電話相談：広島県認知症電話相談・広島市認知症コールセンター	8	15	1	0	18	6



6) 認知症に関連する情報や日々の暮らしに関連する情報について、どのようなものがあればよいと思われますか？（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 認知症について	8	33.3
2 認知症の治療について	11	45.8
3 専門医療機関・専門について	11	45.8
4 介護について	12	50.0
5 介護保険サービスについて	13	54.2
6 本人ミーティングや家族会について	6	25.0
7 就労に関する相談窓口について	4	16.7
8 経済的支援の相談窓口について	6	25.0
9 成年後見制度について（判断が難しい状態にある人を法律的に保護し、支援する制度）	6	25.0
10 その他（3～4時間程度の無償預かり所、各学区に24時間・365日）	1	4.2

※%は回収件数（24件）中の割合



若年性認知症に関する調査（担当者） 集計結果

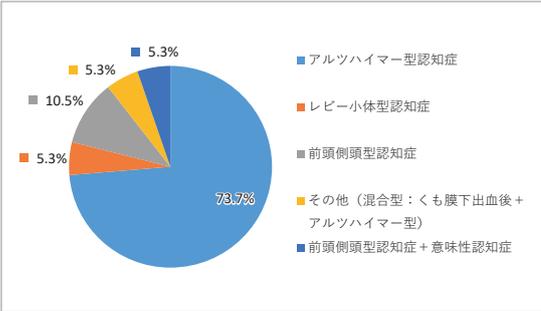
◆回収状況

回収件数	19
------	----

1. 認知症をおもちご本人（以下、当事者）について

1) 当事者の診断名について

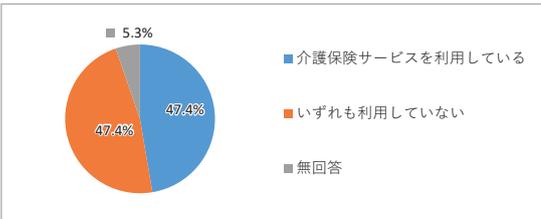
	件数	割合(%)
1 アルツハイマー型認知症	14	73.7
2 レビー小体型認知症	1	5.3
3 前頭側頭型認知症	2	10.5
4 血管性認知症	0	0.0
5 外傷による認知症	0	0.0
6 その他（混合型：くも膜下出血後+アルツハイマー型）	1	5.3
前頭側頭型認知症+意味性認知症	1	5.3
計	19	100.0



2) 当事者が利用しているサービスについて

(1) 当事者は介護保険サービス・総合事業を利用されていますか？

	件数	割合(%)
1 介護保険サービスを利用している	9	47.4
2 総合事業（介護予防・生活支援サービス事業/一般介護予防事業）を利用している	0	0.0
3 いずれも利用していない	9	47.4
無回答	1	5.3
計	19	100.0

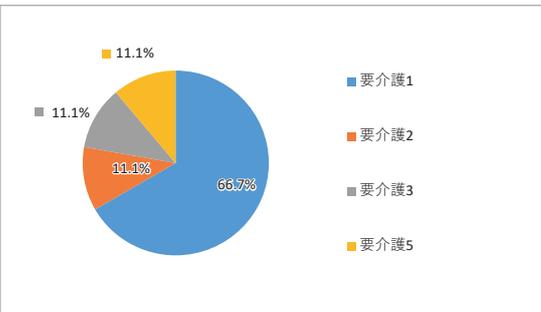


(1)-1 「介護保険サービスを利用している」「総合事業を利用している」と回答された方：

当事者の現在の状態、利用されているサービス内容

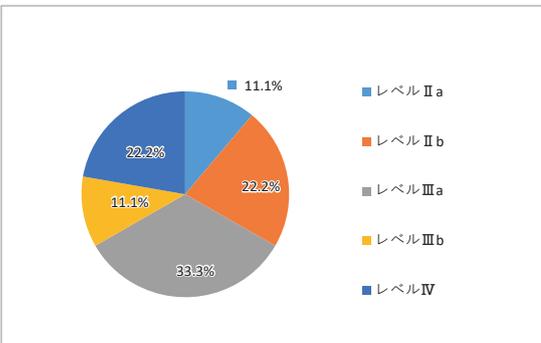
要介護度

	件数	割合(%)
0 要介護認定なし	0	0.0
1 要支援1	0	0.0
2 要支援2	0	0.0
3 要介護1	6	66.7
4 要介護2	1	11.1
5 要介護3	1	11.1
6 要介護4	0	0.0
7 要介護5	1	11.1
計	9	100.0



認知症高齢者の日常生活自立度

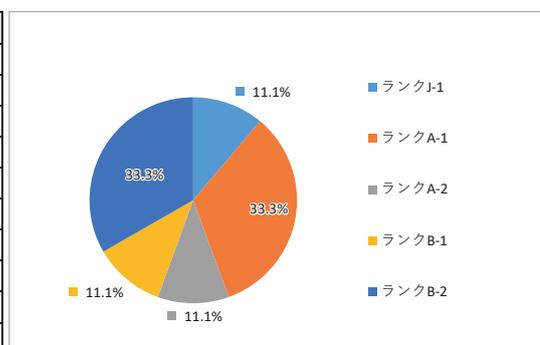
	件数	割合(%)
0 自立	0	0.0
1 レベルⅠ	0	0.0
2 レベルⅡa	1	11.1
3 レベルⅡb	2	22.2
4 レベルⅢa	3	33.3
5 レベルⅢb	1	11.1
6 レベルⅣ	2	22.2
7 レベルⅤ	0	0.0
8 分からない	0	0.0
計	9	100.0



若年性認知症に関する調査（担当者） 集計結果

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）

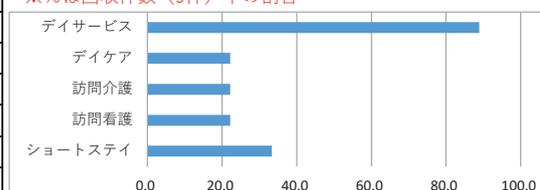
	件数	割合(%)
1 ランクJ-1	1	11.1
2 ランクJ-2	0	0.0
3 ランクA-1	3	33.3
4 ランクA-2	1	11.1
5 ランクB-1	1	11.1
6 ランクB-2	3	33.3
7 ランクC-1	0	0.0
8 ランクC-2	0	0.0
9 分からない	0	0.0
計	9	100.0



介護保険サービスの種類（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 デイサービス	8	88.9
2 デイケア	2	22.2
3 訪問介護	2	22.2
4 訪問看護	2	22.2
5 ショートステイ	3	33.3
6 その他	0	0.0

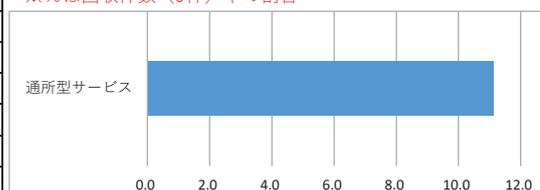
※%は回収件数（9件）中の割合



総合事業の種類（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 訪問型サービス（理学療法士・作業療法士による助言・指導）	0	0.0
2 訪問型サービス（言語聴覚士による助言・指導）	0	0.0
3 訪問型サービス（管理栄養士による助言・指導）	0	0.0
4 通所型サービス	1	11.1
5 ホームヘルプサービス	0	0.0
6 その他	0	0.0

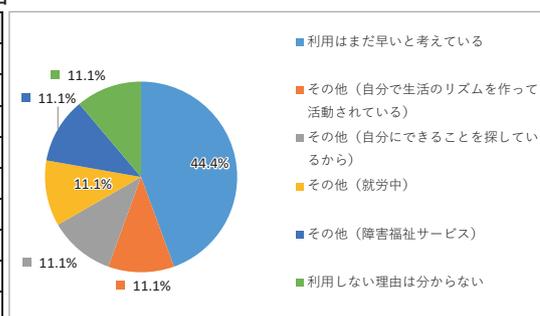
※%は回収件数（9件）中の割合



(1)-2 「いずれも利用していない」と回答された方：

なぜ当事者は介護保険サービス・総合事業を利用しなかったのか、その理由

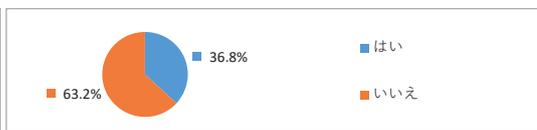
	件数	割合(%)
1 利用したいサービスがない	0	0.0
2 利用はまだ早いと考えている	4	44.4
3 サービス利用は経済的に難しい	0	0.0
4 その他（自分で生活のリズムを作って活動されている）	1	11.1
4 その他（自分でできることを探しているから）	1	11.1
4 その他（就労中）	1	11.1
4 その他（障害福祉サービス）	1	11.1
5 利用しない理由は分からない	1	11.1
計	9	100.0



若年性認知症に関する調査（担当者） 集計結果

(2) 当事者は障害福祉サービスを利用されていますか？

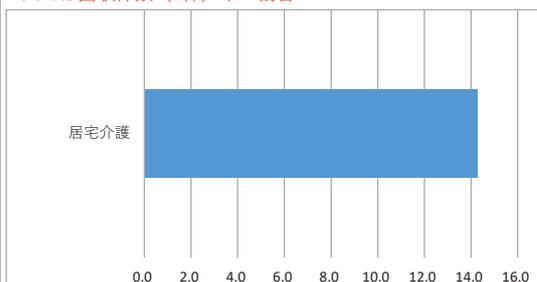
		件数	割合(%)
1	はい	7	36.8
2	いいえ	12	63.2
	計	19	100.0



(2)-1 「はい」と回答された方：現在利用されている障害福祉サービスについて
介護給付（複数回答可能）

		件数	割合(%)
1	居宅介護	1	14.3
2	重度訪問介護	0	0.0
3	同行援護	0	0.0
4	行動援護	0	0.0
5	重度障害者等包括支援	0	0.0
6	短期入所	0	0.0
7	療養介護	0	0.0
8	生活介護	0	0.0
9	施設入所支援	0	0.0

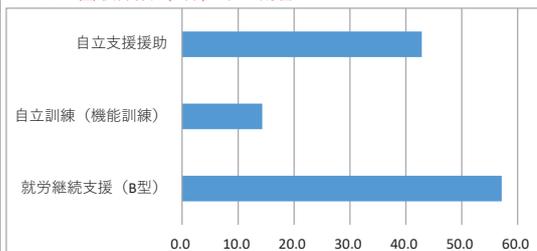
※%は回収件数（7件）中の割合



自立支援給付（複数回答可能）

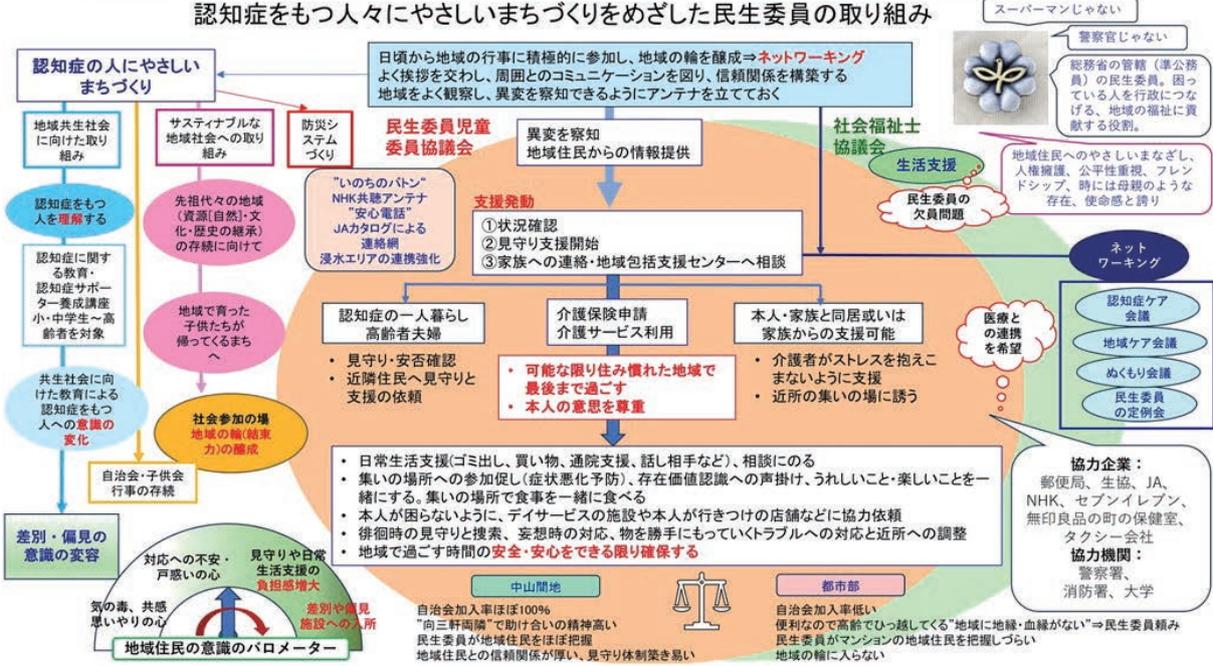
		件数	割合(%)
1	自立支援援助	3	42.9
2	共同生活援助	0	0.0
3	自立訓練（機能訓練）	1	14.3
4	自立訓練（生活訓練）	0	0.0
5	就労移行支援	0	0.0
6	就労継続支援（A型）	0	0.0
7	就労継続支援（B型）	4	57.1
8	就労定着支援	0	0.0

※%は回収件数（7件）中の割合



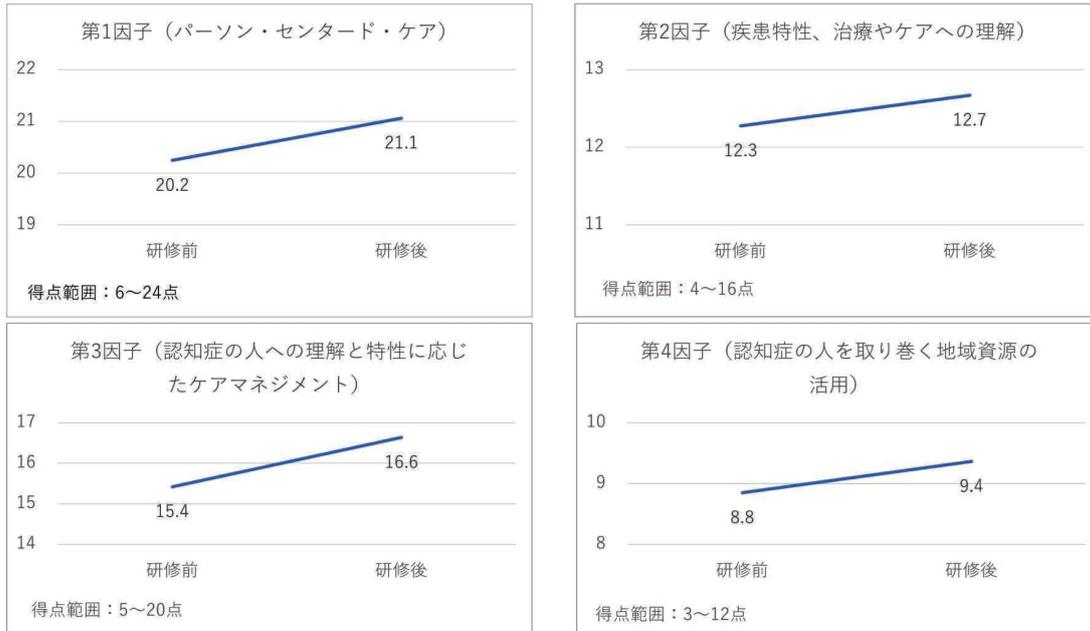
中山間地や離島における認知症地域医療 民生委員対象調査

認知症をもつ人々にやさしいまちづくりをめざした民生委員の取り組み



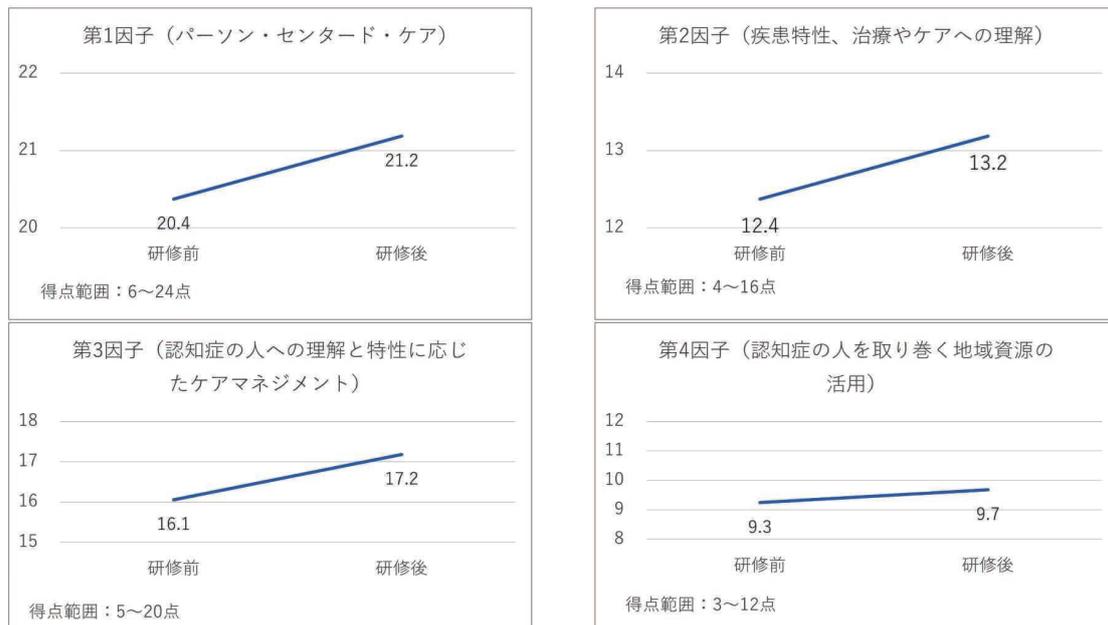
令和5年度認知症対応の質の向上研修 第1回研修結果（認知症と間違われやすい精神疾患）

認知症の人に対するケアマネジメント実践自己評価尺度 4因子の平均点の変化



令和5年度認知症対応の質の向上研修 第2回研修結果（せん妄）

認知症の人に対するケアマネジメント実践自己評価尺度 4因子の平均点の変化



広島県地域保健対策協議会 認知症対策専門委員会

委員長	石井 伸弥	広島大学大学院医系科学研究科共生社会医学講座
委員	天野 純子	広島県医師会
	井手下久登	いでした内科・神経内科クリニック
	井門ゆかり	井門ゆかり脳神経内科クリニック
	魚谷 啓	広島県医師会
	大盛 航	広島大学病院精神科
	落久保裕之	広島県医師会
	小山田孝裕	三原病院（広島県東部認知症疾患医療センター）
	勝田 徹	広島県健康福祉局疾病対策課
	河村 敦子	広島大学大学院医系科学研究科共生社会医学講座
	佐々木真哉	広島県地域包括ケア推進センター
	谷田 知之	広島市健康福祉局高齢福祉部介護保険課
	畑 和彦	認知症の人と家族の会広島県支部
	松田 貴志	広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課
	松本 正俊	広島大学医学部地域医療システム学
	望月マリ子	広島県介護支援専門員協会
	元廣 緑	広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会
	山本恵美子	広島県健康福祉局地域共生社会推進課
	吉益 伸幸	広島弁護士会